

無理なく愉しむ「癒しの庭」を。人生の節目に寄り添う『庭じまい』とこれからの庭づくり

長年、注文住宅の営業や設計に携わってきた佐々木さん。子育ての卒業を機に一步を踏み出し、これまでにない「庭じまい」という新しいサービスを掲げて『庭音（にわおと）』をスタート。創業に込めた想いや、みらい塾での歩みについてお話を伺いました。

事業者プロフィール



屋号・法人名 庭音（にわおと）

代表者名 佐々木 瑞穂（ささき みずほ）様

創業日 2025年10月31日

所在地 多賀城市高崎3 - 12 - 25



お庭の施工例



愛着のある庭木のお預かりも

創業の背景とお庭へのこだわり

Q1.創業のきっかけと、現在の事業内容について教えてください。

長年、個人の注文住宅の営業や設計に携わの中で、たくさんのお客様のマイホームづくりをお手伝いしてきました。家づくりは夢を形にする素晴らしいターニングポイントですが、限られた予算の中で何かを諦めなければならない場面も多くあります。その際、一番後回しにされがちなのが、実は「お庭」なんです。思っている以上に費用がかかる上、いざ住み始めてみると、毎日の忙しさから雑草の処理や樹木の剪定が追いつかず、せつかくのマイホームがお庭のせいでストレスになってしまう……という方をたくさん見てきました。また、ご高齢になって「自分たちの手ではもうどうにもできない」と悩まれている方も潜在的に多くいらっしゃいます。そこで、これまであまり手をつけてこなかった『庭じまい』という新しい事業を立ち上げました。今あるお庭の整理をお手伝いすると同時に、これから新築される方に向けて、将来を見据えた無理のないお庭を設計段階からご提案しています。ちょうど子育てが一段落したこともあり、「今こそ行動を起こそう！」と決意しました。

Q2.提供するサービスやお庭づくりにはどのようなこだわりがありますか？

私が思う理想の庭とは、その家に住まう人ができる範囲で無理なく愉しみ、関わり合うことができる癒しの場所です。その癒しの場所で摘んだお気に入りの草花を、好きな花器に活けて、お部屋の好きな場所にそと飾る。そんな日々の小さな幸せをお手伝いしたくて、この『庭事（にわごと）』の事業を始めました。

補助金の活用とみらい塾の繋がり

Q3.多賀城市創業支援補助金はどのように活用されましたか？

『庭音』の事業内容となる外構工事や植栽工事を施工するためには、資材や植物を運搬するための車が絶対に欠かせません。そのため補助金は軽トラックの購入費用に活用させていただきました。基本的に実際の施工は「team庭音」としてご協力いただいている信頼できる外構工事業者さんや植木店さん、庭師さんへ依頼していますが現場の状況や工事の規模によっては、私自身で資材（雑草対策の防草シートや砂利、庭石、庭木、植物など）を搬入することも多いため補助金で購入した軽トラックが大活躍しています。

Q4.「みらい塾」の支援の感想や、印象に残っているエピソードを教えてください。

創業するまで（そして起業してからも）、みらい塾のセミナーや仲間との交流、みらい塾スタッフの皆さんのきめ細やかなサポートや個別相談に何度も助けられ、励まされている『庭音』があります。特に創業補助金に関しては、みらい塾スタッフからの強い後押しがなければ申請していなかったと思います。いま振り返ると、あの補助金申請のプロセスこそが、なぜ自分が庭音を立ち上げたいと思ったのか、これからどうしたいのかなど、自分自身の「在り方」を深く見つめ直す最高の機会をいただいたと感じています。



庭じまい施工 ビフォーアフター



ご自身で作業をすることも

未来への展望とメッセージ

Q5.今後の夢や展望について教えてください。

工事の終わりがお客様との関わりの終わりではなく、四季の移り変わりや、ご家族の節目、家族の形が変わるそんなタイミングに「あ、佐々木さんに相談してみよう」と私の顔をふっと思い浮かべていただけるような、お客様にとって長く寄り添える存在を目指していきます。

Q6.これから多賀城で創業する方へのメッセージをお願いします！

まずは後先考えず、「一步を踏み出してみる」とだと思います。自分がどうしたいか、どうなりたいかを実現するために、今の自分の状況に合わせたやり方や時間配分は、みらい塾のセミナーやスタッフの方々、仲間からヒントやきっかけをもらいながら、後から考えてもどうにかかります。みらい塾を受講して、「行動を起こすのは今じゃない」という判断をするのも立派な前進です。ゼロのままでは何も進みません。まず「1」に進むことが大きなステップなので、その一步として気負わずに、みらい塾で「創業とは？」を愉しみながら学んでみてください。